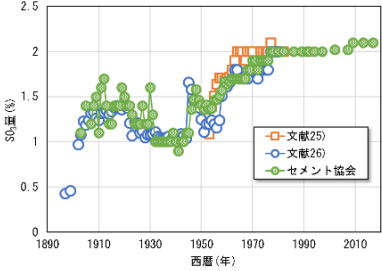
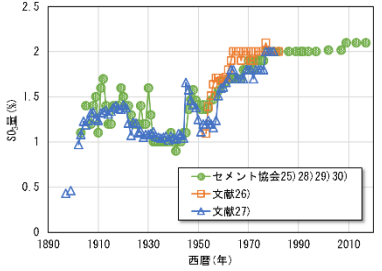
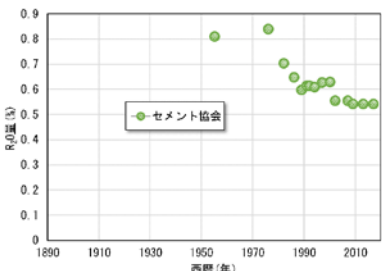
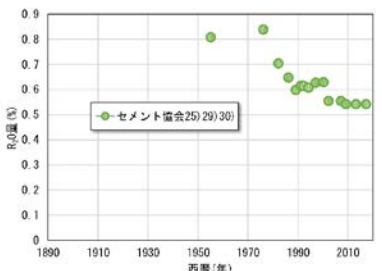


「マスコンクリートの温度ひび割れ制御設計・施工指針・同解説」 正誤表

〔2019年11月25日刊行 第2版第1刷〕

章	頁	箇条・行等	誤	正
3章	42	18行目	解説表 4.2	解説表 4.5
5章	82	解説表 5.1 「打込み温度と 外気温の温度差 (°C)」の「壁 状部材」の欄	<u>-10</u> , -5, 0, +5, +10	-5, 0, +5, +10 ・ -10 を削除する
5章	96	下から 5行目	手順⑥ 応力強度比の読取り	手順⑥ <u>最大</u> 応力強度比の読取り
5章	22 106	図 5.11 第1象限の記号 第4象限の記号	L_w/H_w η_1	L_w/H_w <u>or</u> L_M/H_M ・ 版状部材の場合の L_M/H_M を追加 <u>$\Delta \eta_1$</u> ・ 横軸の記号を修正
5章	23 107	図 5.12 第2象限の記号	L_w/H_w	L_w/H_w <u>or</u> L_M/H_M ・ 版状部材の場合の L_M/H_M を追加
5章	109	解説図 5.18 縦軸・横軸の記 号	<u>$\Delta \sigma/F_t$</u>	<u>$\Delta \eta_1$</u>
5章	111	解説図 5.22 縦軸・横軸の記 号	<u>$\Delta \sigma/F_t$</u>	<u>$\Delta \eta_2$</u>
5章	113	解説図 5.25 縦軸の記号	(線膨張係数による <u>正係数 $\Delta \eta_3$</u>)	(線膨張係数による <u>補正係数 ϕ</u>)
6章	129	解説表 6.2 欄外	[注] 「-」は対応不可を表 <u>下</u>	[注] 「-」は対応不可を表 <u>す</u>
8章	28 139	表 8.2 「鉄筋腐食抵抗 性」の「判定基 準」の欄	ひび割れ幅の最 <u>大</u> 値が	ひび割れ幅の最 <u>大</u> 値が

付 2	158	付図 2.9 左側の図	 <ul style="list-style-type: none"> ・プロットと文献番号が不整合 	 <ul style="list-style-type: none"> ・文献番号を整合 ・凡例に文献番号付与
付 2	158	付図 2.9 右側の図	 <ul style="list-style-type: none"> ・凡例に文献番号がない 	 <ul style="list-style-type: none"> ・凡例に文献番号付与
付 7	214	1 行目	7.4 構造体強度補正值 mSn の検討	7.4 構造体強度補正值 $mSMn$ の検討
付 15	306	付図 15.16 縦軸	(線膨張係数による <u>正係数 $\Delta \eta_3$</u>)	(線膨張係数による <u>補正係数 ψ</u>)